

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | 地域ブランド「市田柿」の発信による地域活性化 |
| 事業主体 (連絡先) | 市田柿活性化推進協議会 飯田市鼎東鼎281 |
| 事業区分 | (6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 3,813,797 円 (うち支援金: 3,051,000 円) |

事業内容

令和3年に販売開始100周年を迎えた飯田下伊那特産の「市田柿」を次の100年に繋げるためPR活動食育活動を実施した。

- ・市田柿食育動画、PR動画の作成
食育動画：約12分で市田柿の歴史、栽培加工方法をまとめた
PR動画：約90秒で市田柿を紹介、販売店舗等で放映
- ・市田柿レシピブックの作成
フードコーディネーター6品、飯田女子短大・下農高生徒考案
レシピ6品を掲載
- ・市田柿アレンジレシピ教室の開催
レシピブック監修者を講師に迎え、レシピブックを使用した料理教室を開催



【レシピブックを活用した料理教室の様子】

事業効果

- ①市田柿レシピブックを3万部発行したことで、各団体と取引のある全国の市田柿販売店舗にて市田柿の食べ方提案を行うことができた。レシピブックは各団体でのHPやSNSでの発信、新聞・テレビ報道により県内外から多くの問い合わせをいただいた。
- ②PR動画は店頭での放映や各団体でのHPでの発信により、市田柿を知らない方にも知ってもらうきっかけを作ることができた。食育動画は食育事業を実施する際にストーリーブックと動画の両方を活用した事業が可能となった。栽培加工方法等園地や作業場を訪問しないと見ることのできない内容を紹介できる内容となった。
- ③レシピ教室は、2部開催で28名の方に市田柿の新たな食べ方提案を行うことができた。親子参加が多く幅広い世代の方に市田柿の食べ方を知っていただくことができた。
「市田柿はそのまま食べる方法しかないと思っていたが、火を通したり他の食材を併せることで、さらにおいしく食べられることを知ることができた」といった声をいただくことができた。

【目標・ねらい】

- ①全国に向けた「市田柿」ブランドの発信・PR活動・認知度向上
- ②地域文化継承に向けた食育活動の準備

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・レシピブックの反響が大きく、市田柿の食べ方提案をしやすい内容となった。
- ・PR動画は販売店舗で足を止めてもらうきっかけを作ることができた。
- ・食育動画とR3作成のストーリーブックを併せた食育事業の展開が可能となった。
- ・レシピブックを活用した料理教室の開催で幅広い世代の方に市田柿の食べ方提案ができた。

今後の取り組み

元気づくり支援金を交付いただいて3年間事業を行ったことで地域ブランドである「市田柿」を全国に向けて効率的に発信することができた。今後は「市田柿」を次の100年に向けて継承するために、市田柿ストーリーブック、市田柿幼児向けパンフレット、市田柿食育動画を活用した食育事業を飯田下伊那地域の子供たちを中心に展開する。また、さらなる消費拡大・認知度向上に向けて市田柿レシピブック、市田柿PR動画を活用して全国の販売店舗でPR事業を展開する。食育事業とPR事業を通して、後継者不足や消費者層の拡大を目指し、冬といえば「市田柿」が欠かせないと言われるような存在になれるよう、全国・世界へ向けた発信を継続する。